|  |
| --- |
| 2025年６月第４週 【6/27発行】  小学生用教材　　G7サミットがカナダで行われる　　　　　模範解答と指導の手引 |

教材のダウンロード期限について

毎週金曜・朝7：00に「ニュース教材を発行しました」のお知らせメールを全ての購読者様にお送りしています。  
そのメールで「できるだけ3週間以内に教材をダウンロードして下さい。期間内にダウンロードできなかった場合は、

お手数ですが、パスワードをお教えしますので、お問合せ下さい」とお願いをしています。

万が一メールが届いていない方は、[tsubaki.yuki1229@gmail.com](mailto:tsubaki.yuki1229@gmail.com)にお問い合わせください。

Instagramでも毎週金曜に「教材発行しました」のお知らせを出しているので、フォローしていただければ幸いです。

★椿由紀　Instagram　 <https://www.instagram.com/yuki_tsubaki2020/>

この教材の使い方

1）この教材はコピーOKです。生徒の人数分、配布してください。

2）Zoomなどのオンライン授業で、画面共有しての使用も歓迎します。

3）動画は自由に授業でご活用ください。音声ファイル（有料）のリンクは、生徒に送ってご活用下さい。

4）Wordファイルは自由に加工可能です。問題の削除、本文や設問の変更、加筆や画像の追加もご自由にどうぞ。

5）設問の言語（英語／日本語）や難度はご自由に調整してください。全てのご要望に個別対応できませんが、アレンジは大歓迎です。

6）文法・スペルミスには注意していますが、万一の誤りは後日HPに訂正版を掲載します。発見された場合はご連絡いただけると助かりますが、修正してそのままご使用いただいても構いません。

7) 全ての教材に暗唱文（重要文法、使える表現を含むキーセンテンス３文）を付けています。「夢タン」著者の木村達哉先生のセミナーをヒントにしています。音読・暗唱は英語上達の近道です。生徒のレベルに応じてご活用ください。（暗唱文のディクテーションまたは発音練習をしてから、本文に入る、という使い方もできます）

参考にした英語記事

<https://www.aljazeera.com/news/2025/6/15/g7-summit-who-is-attending-and-whats-on-the-agenda>

<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20250616_02/>

<https://www.bbc.com/news/articles/cpqnjx1qw9po>

<https://www.france24.com/en/americas/20250616-g7-leaders-canada-mideast-tariffs>

<https://japannews.yomiuri.co.jp/politics/g7-summit/20250617-264428/>

<https://www.theguardian.com/world/2025/jun/16/g7-summit-on-wildfire-watch-for-trumpian-explosions-in-canada>

<https://www.dw.com/en/g7-summit-trump-calls-removing-russia-from-group-mistake/live-72915936>

世界の国旗のイラストをお借りしたウェブサイト

<https://nuripla.com/>

0．低学年用　英語ニュース

★低学年用のニュース教材は、ニュースに関心のありそうな低学年（小学3年生以下）の生徒さんや、

「時間がないので、正規の小学生教材を要約したものを使いたい」という場合にお使いください。

★1ページ目には易しい設問をつけているので、「英語でニュースを勉強できた！」という知的好奇心を満たしたり、

「質問の答えを、英語で書けた！」という達成感を、生徒さんたちに持ってほしいです。

★対象年齢の目安

🔴１ページ・・・小学３年生～英語を習いたての５・６年生など（普通の小学生教材が長くて難しそうな生徒さん）

🔴２ページ・・・小学１～3年生、園児さん（ニュースに高い関心を持っている小さいお子さん）

★(良く質問をいただきますが)時間がなければ設問を解く必要はないと思います。本文を生徒さんたちと音読するだけで勉強になります。（生徒さんが自分で英語を読めなくても、先生が朗読し、生徒さんがリピートできればOK）

★本当に時間がなければ、内容を先生が軽く解説し、キーワードを英語で説明してあげてください。

（例）1年生は“G7“を「ジーセブン」と読めただけで、拍手。  
２～4年生は、カナダを地図で探し、世界の国旗を覚えて国の名前を英語で言えれば、素晴らしいと思います。

1ページ

Q1 (Kananaskis,) Canada Q2 (B) Q3 (イラン)　（イスラエル）

Q4 表に国の名前を書き込む問題は、次のページを参照してください。

2ページ

★ニュース文を先生が読んであげて、できればリピートしてもらって下さい。

★G7を「ジーセブン」と読めたら、ほめてあげてください。

★G7の7つの国々のスペリングを書いて発音し、国旗に色をぬって下さい。

★時間があれば、日本の首相の名前を確認し、カナダを地図で探してください。

★国旗のカルタなどをするのも楽しいと思います。

★世界のあいさつの歌は、私が幼児さん・小学生と、よく歌います。この機会に歌ってみて下さい。

1．小学生用　英語ニュース

※「小学生用」という名前の教材ですが、中学生、高校生、社会人の授業の、短いice breakの読み物としてもおすすめです。（「中学生用教材」は、中２・中３を対象に作成しているため、少し文が長くて難しめです）

１ページ

Q1　– In (Kananaskis, Canada). Q2　✅ (2) Group of 7

Q3　– (Japan) did. Q4　– His name is (Donald Trump).

Q5　– It is (50) years old. Q6　（平和）（貿易）など、世界の問題

Q7　Because a war started between Iran and Israel.／イラン・イスラエルの間で戦争が始まったから。

2ページ

| 国　Country | 首脳（2025年） | 画像が生成されました画像が生成されました  画像が生成されました  画像が生成されました |
| --- | --- | --- |
| Canada | マーク・カーニー首相 ／ Mark Carney |
| France | エマニュエル・マクロン大統領／Emmanuel Macron |
| Germany | フリードリヒ・メルツ首相／Friedrich Merz |
| Italy | ジョルジャ・メローニ首相／Giorgia Meloni |
| Japan | 石破 茂総理大臣／Shigeru Ishiba |
| the U.K. | キア・スターマー首相／Keir Starmer |
| the U.S. | ドナルド・トランプ大統領／Donald Trump |

♬G7 QUIZ♬

Q1 2. Russia

※2014年、ロシアはウクライナのクリミア半島を軍事的に占領しました。G8の他の国々は「国際法違反だ」として強く反対し、「こんな野蛮な国はG8として認めない」と言って、ロシアを除外しました。それ以来ロシアは戻っていません。

Q2 2

※1970年代のオイルショック（石油不足）で石油の値段が急に上がり、世界経済が大きな影響を受けました。

その問題を話し合うために、G7サミットが始まりました。

Q3 3

※サミットは「山のてっぺん」「もっとも高い場所」を意味します。ところで、国のリーダー（首相や大統領）は、それぞれの国の「一番上に立つ人（トップ）」です。トップが集まる会議だから、「**サミット＝首脳会議**」と呼ばれるようになりました。

小学生クラスのための英語ニュース教材・指導の手引き

■今週のニュース：G7サミットは、一見すると地味に思われるかもしれませんが、小学生クラスで大変盛り上がりました。  
子どもたちの好奇心をくすぐりながら、英語と社会（時事ニュース）を楽しく学べて一石二鳥ということを、ぜひ実感していただけたらと思います。

1. 「G7」の“G”とは？ユーモアから始める導入

最初に、「G7の“G”って何のこと？」と問いかけるだけで、子どもたちは目を輝かせて手を挙げます。

“Grandma 7!!”　　　　“Good morning 7!!”　　　　　“Gorilla 7!!”

…と、愛らしい珍回答が続きます。子どもたちの発想力と言葉のセンスを、ぜひ、たっぷりと褒めてあげて下さい。  
（頭文字がGで始まる英単語を、たくさん思いつくだけで天才的だと思います）

四択問題の形でもよいですが、あえて空欄にして、子どもたちにスペルを書いてもらうのもおすすめです。  
子どもたちは「自分の力で考えた」という達成感を得ることができます。

2. G7首脳の顔ぶれを「ビジュアル」から親しむ

中学生クラスでは、各国首脳の写真を見せて、「この人はどの国のリーダーだと思う？」とクイズ形式にすると、  
推理ゲームのように楽しんでくれました。

また、女子生徒さんたちからは「イケメンコンテストをしましょう！」という提案があり、  
見た目や印象を話題にしながら、自然に首脳たちの名前と国名を覚えていきました。

「マカロン大統領って、イケメンだわ！」　　「イタリアの首相は美人だわ」　　「ドイツの首相は、頭が良さそうね」

「カナダの首相は、警察官みたい！」　　※ちなみに、カナダのカーニー首相は、元、銀行の頭取です。

…そんな素直な感想の中にも、リーダー像に対する興味が芽生えているのを感じました。

3. 小学生から伝えられる「豆知識」

私は中学生に社会を教えることもあります。　このニュースは、中学生になってから非常に役に立つことを知っていたため、  
小学生の子どもたちが興味を持ってくれるように、以下のような説明をしました。

●「G7は、世界でいちばんお金持ちな7つの国のリーダーたちが、地球のいろいろな問題について話し合う会議です。

日本もその中に入っているんですよ！」

　※（ここで「え～！！日本も、ベスト7に入っているの！？」という驚きの反応がありました。）

●「毎年、会議を開く場所は、持ち回り制で決められていて、去年はローマ、おととしは広島でした！」

●「中国やインドもお金持ちの国になってきたので、『G7に加わるべきでは？』という意見も出ていますが、

まだ入っていませんね～」  
こういう豆知識は、意外と子供たちの心に残るようです。

４. 戦争の話題に触れるときの配慮

イランとイスラエルの戦争については、中学生にはやや詳しく取り上げますが、小学生に話す際は、少し気を付けました。

私の塾では、「戦争」のニュースを取り上げるだけで涙ぐんでしまう、心の優しい子が何人かいます。

「私たちは平和な日本に住んでいますが、世界のどこかでは戦争があります。戦争が早く終わるように祈りましょうね」

と、子どもたちの不安を煽らないように、穏やかに話すことを心がけるようにしました。  
涙ぐんでしまう子には、「とても優しくて良い子です」と保護者様にもお伝えするようにしています。